

社会福祉法人はるにれの里での強度行動障害支援

余暇を整えて本人の生活を支える

グループホームようようの実践

社会福祉法人はるにれの里 グループホームようよう 大嶋基意

はるにれの里の事業運営理念

- 1. 重度自閉症および重度知的障がいを初めとした発達障がい 児・者に特化した多様な機能をもつ事業運営
- 2. いかなる重度障がい者も最終ゴールを地域での自律生活を 目指し、地域に溶け込み、地域を支え、地域とともにある事 業運営
- 3. 社会福祉法人として支援にあたっては常に先駆性、開拓性、 モデル性と支援ネットワークの構築を目指す事業運営
- 4. 家族・当事者を支え、家族・当事者に支えられる事業運営
- 5. はたらく職員のやりがいを支える事業運営
- 6. 情報の公開、外部評価の導入による地域に開かれた事業 運営

障がい者支援施設 厚田はまなす園

(定員 入所30名、生活介護40名、 短期入所5名)

重度自閉症者へのより高度な個別支 援と地域移行を目指す入所支援。



札幌市自閉症者自立支援センターゆい

(定員 30名1ユニット6人・全室個室、 短期入所6名)

地域移行を目的とした利用期間は概ね3年 の有期限有目的の生活タイプの入所支援。



生活介護事業所

札幌市自閉症者自立支援センターゆい 生活介護 自立訓練 (定員44名) (定員6名)



地域生活支援拠点 自閉症者地域生活支援センター なないろ

生活介護(定員20名)・短期入所(定員3名)



レラ・もうらい (定員30名



主に障がいの重い知的障がい・ 自閉症の方々を対象に、軽作業 さりゅう(定員20名) や文化的活動をはじめ、様々な活 動を通して地域生活全般にわたっ ての自律度を高め、生活の充実を 図るための支援を行っています





ぼぬ一る(定員20名)



サポートセンター

あらいぶ

(定員20名)

SECRET PROPERTY

あらかぶ

多機能型煙がい倫化サービス事業所

ワークセンターポロレ

生活介護事業所 (定員20名) 就労継続B型事業所 (定員20名)

ベーカリーショップこむぎっ こでのパンの製・販売、及び ワークエ房り一ぷでの製袋 リサイクル作業。

とれたってマルシェ

ふれあいきのこ村

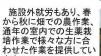
生活介護事業所 (定員20名) 就労継続B型**事業所** (定員10名)

菌床しいたけの栽 培、及び、しいたけ の市場販売。



别为临病涉及"事果"

就労継続A型事業所 (定員15名) 就労継続B型事業所 (定員15名)



東米里菌床センター

就労継続A型事業所 (札幌市東区) (定員10名)

しいたけの菌床培地の 製造、培養と市場販売。



どんなに障がいが重くても、支 えるサービスの仕組みがあれば 地域での暮らしができます。

やすらぎ(厚田区地域)

- *厚田はまなす荘
- *白樺202
- *やすらぎ203
- *やすらぎ205
- *ひまわり
- *やすらぎ207
- *やすらぎ208
- *やすらぎ209
- *来夢 *さくら
- *つばき
- *こもれび
- *さらん *風夢

あしり(石狩・札幌地域)

- *石狩はまなす荘
- *こすもす
- *あ・てんぽ
- *まあむ
- *とまと
- *たんぽぽの家
- *あしり *ふりっぱー
- *ようよう
- *ひなた *つばさ
- *らいふ
- *ほしの空 *ほしの窓 *ふおるて * ステラ
- *うたたね *あろん
- *りれい *よもぎ











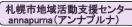


(石狩市花川南)

也既沽劃文援事業所・居毛事業

地域活動支援センターえみな 地域活動支援センター彩

市町村事業で余暇・生活支援の柔 軟な支援サービスの提供を行ってい ます。土日祭日の余暇支援や当事者 活動の支援も行っています。



発達障がいの方々をはじめとする、 所属場所を見つけられずに適切な支 援を受ける機会に恵まれなかった方々 に対して、安心できる居場所と次への ステップの機会を提供しています。

パーソナルサポートセンターぽけっと

居宅介護·通院介護·行動援護·移動 支援等の他、私的契約のパーソナルサ 一ビスや福祉有償運送等のサービスを 行っています。



就为移行支援事業所

あるば (定員15名) あるば札幌(従) (定員15名) 就労定着支援事業あるば キャリアセンターINTAS(独自)

知的障がい者、発達障がい者の一般企業へ の就労支援(これから働く人たちへの支援、現在 働いている人たちへの支援)を行っています。



総合就労支援センターCAP 2F あるば ■ 2F キャリアセンター **INTAS** 3F のいける



のいける

障がい者の職業的自立を実現するた めに就職や職場適応などの就業面の支 援と日常生活面の支援を一体的に行う

事を目的としています。また、事業主に対して障がい者の就職 後の雇用管理に係る助言や関係機関との連絡会議を開催し、これら機関とのネ ットワークづくりも行っています。







児重発達支援事業

児童発達支援センター さんりんしや(札幌市西区)

- ·児童発達支援事業(定員24名)
- 保育所等訪問支援・障がい児相談支援

発達支援室なっつ

札幌市療育支援事業の委託を受けて、療育を 必要としている方の(児・者)支援をしています。 (支援計画・アセスメント・セッションなど)

社会福祉法人はるにれの型 児童発達支援センター **多まさんりんしゃ & 夢**



児童発達支援の事業です。自閉症など、発達障がいのお子様たちへの適切な療 育を実践し、お子様の将来を考え、家庭、幼稚園や保育園、学校での生活につなが る支援を目指しています。

相談支援事業

札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる

発達障害者支援法に基づいて設置された、札幌市の発 達障がい児・者への支援体制を整えていくことを目的とし た専門的機関です。

支援者を支えていく機関となることをめざし、研修企画、 機関支援、支援ネットワークの構築などの業務に重点的 に取り組んでいます。

相談室ぽらりす(北区)

西区障がい相談支援センター アウル(西区)

札幌市が委託している相談支援事業所で、北区と西区 に事務所があります。訪問や同行 をしたり、来所いただいたりしなが ら、地域のサービスや制度、その 使い方などを一緒に考えて、より よい暮らしをめざすお手伝いをし ます。



石狩市相談支援センターぷろっぷ

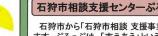
石狩市から「石狩市相談 支援事業」の委託を受けてい ます。ぷろっぷは、「支えあう」という意味です。共に支えあ う力を育む「支柱」になれるように努めます。



相談室にじいろ

札幌市の指定相談支援事業所 のひとつで、自閉症者地域生活支 援センターなないろにあります。障 がいのある方やご家族、地域の方 たちの様々な困りごとや悩みごとを お聞きし、解決方法を一緒に探して いきます。対象は札幌市東区・白石 区にお住いの方です。





対象者: ◇◇氏 プロフィール

生年月日:昭和○年□月△日 ●●歳

身長·体重:◆◆◆ c m ■■kg

障害:自閉症

好きなもの:ジャニーズ(嵐が特に好き)

過ごし方:テレビや雑誌を見てのんびり過ごすのが好き。

支援に至る経緯:◇◇氏の困り感とは

◇◇氏の困り感:先の予定の見通しが持てずに不安感やイライラが溜まってしまう

一年を通してのイベン トが気になってしまう コロナ禍で例年できて いた活動ができなくな る

日々の活動に集中できない

徐々にイライラが溜ま る

不安感やイライラを解 消するためにこのよう な表出が…



職員への他害行為(掴みかかり・噛み付き) 30分~1時間以上の行動停滞



特性把握(アセスメント)と支援の全体構造

- ・その方の特性を把握・整理(アセスメント)して、ご本人が過ごしやす い生活環境を整えるための配慮に全力を尽くすのがはるにれの里のスタ ンス。
- ・それでも、いろいろな課題は出てくるが、特性に基づいた配慮をさらにブラッシュアップしていくことを基本にしながら対策を講じている。
- ※次のスライドで、◇◇氏の特性シートの抜粋と 今回の支援の全体構造を示した氷山モデルを紹介します。

本人の特性と氷山モデルで示した支援の概要

この2つのターゲット行動に対する支援を考える

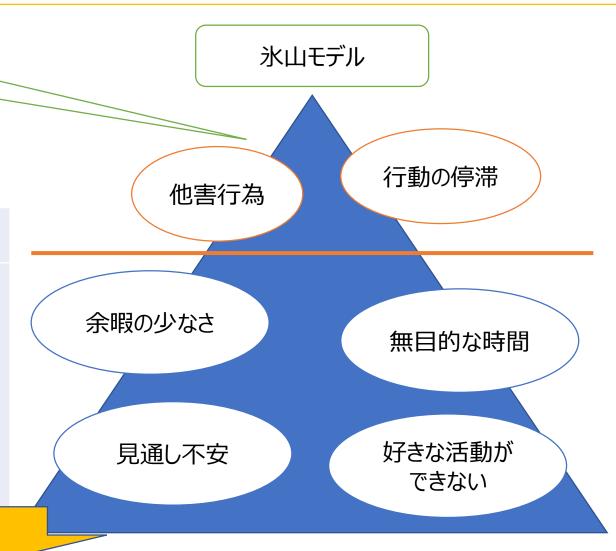
アセスメントから見えた本人の特性

今の本人の生活や学びに活用できる 強みの特性

- ができる。
- ・活動移行や、活動の終わりをタイ てしまう。)
- ている。
- ・動画視聴や音楽鑑賞をして余暇時 間を楽しむことができる。

今の本人の力では難しい 周囲の配慮が必要な特性

- ・簡単な2語文までは文字理解がある。・先の予定に対するこだわりが強く ・気になる事柄を相手に伝えること 見通しを持つことが難しい(例:9月 から12月のクリスマスを気にし過ぎ
- マーを使って理解できる。・気になる事柄、イレギュラーな場 ・楽しみな予定や好きな物・人に対 面など情緒的に消化不良な際には常 する興味関心が強く、記憶保持でき 同行動(首に手を当てながら歩き回 る)がみられてしまう。
 - ・状態が落ち着かない場面で、特定 の職員に対して他害行為がみられる ことがある。



3ステップで取り組む【①イベントまでの小さな楽しみを増やす②無目的な時間を減らす③本人主体の余暇活動】~余暇カレンダーの導入

◇◇氏の困り感を解消するために…

関係事業所とケース会議を開き情報共有

◇◇氏の課題

- ・次のイベントまでの期間で不調なことが多い。
- ・無目的な時間が多く、次のイベントを気にしてしまう時間が増えてしまっている。
- ・職員へ話しかけ確認行動をするが、口頭では納得しきれない。

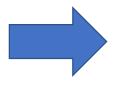
…すると様々な課題が見えてきた

グループホームでの課題

- ・1週間の予定表は毎週更新しているが、本人の安心材料としては弱い。
- ・余暇活動(タブレットやDVD鑑賞)の頻度 が少ない。または週によって違う。
- ・グループホーム内での楽しみが少ない。

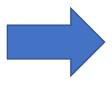
取り組むべき3ステップ

①イベントまでの小さな楽しみを増やす



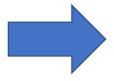
毎週土曜日に「おやつの日」を設定し、1週間ごとに小さな「お楽しみ」ができるように

②無目的な時間を減らす



毎日何かしらの活動を実施できるように 整備する

③本人主体の余暇活動

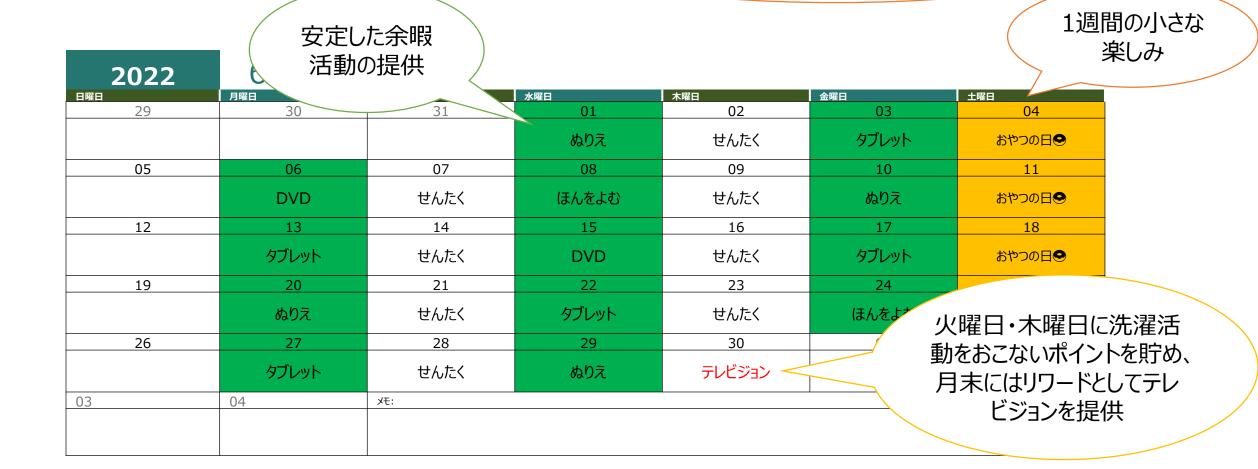


◇◇氏が自分で余暇を選んで毎日を過ごせる システム作り

余暇カレンダーの紹介(1)

3ステップを取り入れられる支援として…

余暇カレンダーの導入!



余暇カレンダーの紹介②

本人主体の余暇活動をするために

月の初めに◇◇氏本人が選べるように!!



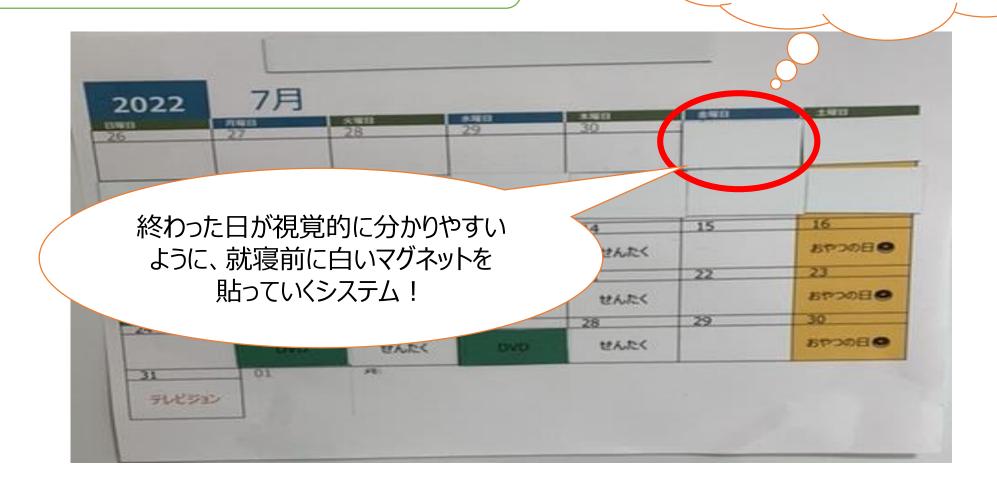


- ・自分で選べることで活動に対するモチベーションUP!!
- ・選んだ内容は途中で変更も可能としている
- →◇◇氏の気分にも寄り添える支援を!

余暇カレンダーの紹介③

より見通しが持てるようにもう一工夫!!

どこまで日が進んだのか、 残りはどれくらいなのかが 分かりやすいように!



導入後の◇◇氏の様子は…?

儀式行動による 停滞の減少

他害行為が滅多に みられなくなった

余暇活動を楽しめ

ている

予定の確認行動が 減少

> 笑顔で過ごせる日 が増えた



毎日をHAPPYに過ごされています!!!

最後に…

今回はこのような発表の場を設けて下さりありがとうございます。 自閉症を抱える方が地域生活を送っていくというのは、思った以上に大変な事が多い です。まだまだ日本では自閉症や発達障害に対する理解が遅れている側面があります。

自閉症を抱えていたとしても、悪いことばかりではなく少し工夫をすれば誰でも毎日を楽しく過ごすことができるのだということが伝わればいいなと思います。

今回発表までに協力してくださった皆様本当にありがとうございました。

ご清聴ありがとうございました!!